

東京消防庁 緊急消防援助隊 3号機の使用済み核燃料プールに注水

3月12日

- 14:50 総務省消防庁から東京消防庁に対して、緊急消防援助隊の1Fへの派遣要請
15:25 東京消防庁のハイパーレスキュー隊8隊28人が現地に向けて出発
放射能災害や生物・化学災害に対応する特殊災害対策車や大量放水に対応した消防車、防護服による活動に習熟した隊員など。1Fの状況に関する情報なし
17:00 常磐自動車道の守谷サービスエリアに到着
18:00 保安院 1号機の爆発で「来ていただいても、1F構内に入れないのではないか」と要請取り消し

消防庁災害対策本部(3月13日 第145報)「原子力安全・保安院から施設を冷却するための装備を持った部隊を派遣してほしいとの要請があり、消防庁長官から、東京消防庁のハイパーレスキュー隊(海水放水能力毎分3,500ℓ 2隊を含む)及び仙台市消防局の特殊装備部隊(海水放水能力毎分4,250ℓ 1隊を含む)の緊急消防援助隊としての派遣を要請 → 出場途上において原子力安全・保安院の要請取り消しにより、両消防本部に対する出動要請を解除」

3月17日

夜 菅首相が石原都知事に対し、1Fへの特殊災害対策車等の派遣を要請し、都知事が受諾

3月18日

- 00:50 消防庁長官が東京消防庁にハイパーレスキュー隊等の緊急消防援助隊としての派遣を要請
03:20 緊急消防援助隊(東京消防庁のハイパーレスキュー隊等)30隊139名が出発
05:00 1F 吉田所長、NHKのニュースを見て初めて、緊急消防援助隊の出動を認識

吉田所長 「今ニュースを見ると、ハイパーレスキューが出発したとあります。139人を何の事前連絡もないこのサイトで調整することは極めて難しい」

細野首相補佐官 「行き違いがどうもあったようでございますが、菅総理から石原都知事に対してぜひお願いしたいということで依頼をした。まさか、こんなに急に来られるということは全然認識しておりませんで……」

本店社員 「相手が何をやろうと思っているのかわれわれは分からないわけですけど」

細野補佐官 「どういった活動をしていただけるか等のたたき台はですね、これから作りますので」

相沢常務 「ハイパーレスキューの良いところっていうのは、直接、海にホースをたらし込んで、連続で燃料さえあれば、何時間でも放水し続けることができる」

武黒フェロー 「海江田大臣が菅総理と直接話されて、何が不都合なのかということ特定して、何とか放水に向けて進むようにとご指示が出ている」

海江田経産相 「とにかくやっぱり、このせっかくのハイパーレスキューに今日は放水してもらいたいということでお願いをします」

原発所員 「ボンベの残量など安全上の問題、現場の意向としては、明日の朝再開したい」

19 : 00

東京消防庁連絡員から現地情報

「本日の放水は中止」「午後 7 時 04 分東京消防庁放水車、1F 構外に出たことを確認」

「隊員のボンベの残量不足で中止したい」「J ヴィレッジに戻る」「ホースにも不具合あり」

21 : 46 海江田経産相から首相の意向が再度伝達

海江田経産相 「これは総理からの命令でもありまして、今夜中にやはり放水をやってくださいと
いうことで、これは本当に総理からのお願いでありまして、そうでありませんと自衛隊を帰した
わけですから、今日中に必ず消防の責任においてやるように、皆さんからも督促をしてください」

吉田所長 「いろいろこちらで考えておりますが、消防さんと連絡手段がないものですから」

吉田所長 「もうちょっと入念に事前に打ち合わせていると思ったのですが。もう、やれやれ、や
ってくださいと」

相沢常務 「ハイパーレスキューは現場に入っていますか」

吉田所長 「まだ入ってません」

相沢常務 「ホースの延長活動していることはないですよ」

吉田所長 「はい？」

海江田経産相 「レスキューの司令から、現場には入っていると。ホースの延長がうまくいかなく
て、ホースと消防車をつなげることができず困難しているということで、放水はしていないが現
場にいると」

吉田所長 「それは違うと思います」

海江田経産相 「ちょっと一応念のため確認」

吉田所長 (部下に確認を求めて) 「うちの腐った連中と話していないで、消防は発電所の中に入
ってきてるの？ 今」

原発所員 「J ヴィレッジに戻りますとっていました」

吉田所長 「どこで落ち合うの？ とりあえずいいから行ってこいよ！ もうどうにかしてよ！」

本店社員 「正門で PHS は使えるのでしょうか」

吉田所長 「使えないって。さっきから。それが使えていたらこんな問題にならない！」

22 : 48 緊急消防援助隊の消防車 14 台が再度 1F 正門前に集結し、作戦計画

23 : 30 構内に消防車が進出

3月19日

00:30 ~ **00:50** 20分間、東京消防庁ハイパーレスキュー隊が、3号機に放水を実施
吉田所長 「プール内に水がいいところに落ちているという報告が入っています」

14:05 東京消防庁ハイパーレスキュー隊が、3号機に対し2回目の放水を実施
翌20日 03:40 まで 13時間以上にわたり連続 2430t 放水

3月20日

21:30 東京消防庁ハイパーレスキュー隊が、3号機に対し3回目の放水を実施
翌21日 03:58 まで 6時間30分、1170t 放水

3月21日

石原都知事が菅首相と官邸で会談
政府側から「速やかに放水しないと処分する」との発言がなされたと抗議
会談後、都知事は発言した人物について「知らない」と

3月22日

海江田経産相 午前の閣議後会見
1Fで放水作業の準備中だった東京消防庁の隊員を恫喝したとされる問題で、
「私の発言で消防関係の方が本当に不快な思いをされたというのであれば、本当に申し訳なく思っていますので、その点についてはお詫びを申し上げます」
「言った、言わないということをここで言うべきではないと思う、かなり事実の混同がある。いづれ話をしたい」